

大会開催の経緯

History of Competition

2000 Formula SAE® に初挑戦

1997年4月、自動車技術会関東支部の学生自動車研究会のなかに「Challenge! Formula SAE®」プロジェクトが発足し、基本設計、空力特性などを検討した。1998年4月、5大学1高専の合同チーム「Challenge! NIPPON」チームが発足し、エンジンは国士館大学、ワイヤハーネスは上智大学、メインフレームは東京都立航空工業高等専門学校、カウルは日本大学、サスペンション、ステアリング、組み立ては神奈川工科大学が担当した。

Formula SAE®は、排気量610cc以下の4サイクルエンジンの使用が義務づけられている。「Challenge! NIPPON」チームは、軽自動車の660ccエンジンをストロークダウンにより610cc以下に改造し、縦置きミッドシップ後輪駆動方式を採用した。排気量608cc、車両質量360kg、FRP製フルカウルの車両で、2000年5月のFormula SAE®にアジア地域から初参戦した。総合成績は、参加104チーム中28位で、初参加の優秀チームに贈られる新人賞を受賞した。

以降、2001年は、国士館大学・上智大学・日本大学の合同チーム、神奈川工科大学の単独チームが参戦した。2000 Formula SAE®プロジェクトでは活動方針、進行管理などについては担当の先生に委ねがちであったが、2001 Formula SAE®ではマネジメント、進行管理、広報活動についても学生自身が自ら行った。参加125チーム中合同チーム91位、神奈川工科大チーム92位。

2002年は3チームが単独校として参戦し、参加125チーム中、国士館大学チーム74位、神奈川工科大学チーム77位、上智大学チーム86位。



2000年合同チームの車両



2001年合同チームの車両



2001年神奈川工科大学チーム

日本大会に向けてのトライアルイベント開催

トライアルイベントは、本大会開催に向けた大会運営リハーサルと位置づけ、2001年9月23、24日にツインリンクもてぎで開催した。参加車両は、2000 Formula SAE®参戦の合同チーム車両J-001、2001 Formula SAE®参戦の合同チーム車両J-002と神奈川工科大学チーム車両K-001の3台。Formula SAE®で行われている車検、静的評価、動的評価を一通り行った。このトライアルイベントにより一通りの大会運営ノウハウを得、2003年の本大会開催に向けて本格的な準備を進めることになった。

第1回 全日本 学生フォーミュラ大会に向けての試走会開催

2003年9月開催の第1回全日本学生フォーミュラ大会、および5月開催の2003 Formula SAE®に向けた試走会を3月10、11日、関東支部が主催し、ツインリンクもてぎ北ショートコースにて開催した。参加車両は、宇都宮大学・明星大学合同、神奈川工科大学、国士館大学、東京電機大学、東京大学、慶應大学、武蔵工業大学、金沢工業大学の8チーム。その他、走行会に車両製作が間に合わなかったが第1回大会に参加を予定しているチームや、第2回以降の大会参加を目指し見学参加した大学を含め24大学、総勢400名近い盛大な走行会となった。車検、練習走行、ブレーキテストを行い、これらをパスした5台の車両が加速、スキッドパッド、周回コースを走行した。

この他にも、同年8月2,3日にアイシン精機藤岡テストコース（豊田市藤岡町）にて中部支部と関西支部を主体にした試走会が開催された。



2002年国士館大学チーム



2001年トライアルイベント